

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	薬剤セット変更による処方と転倒への影響
研究責任者	聖隷浜松病院 薬剤部 永田季穂
研究実施体制	【研究責任者】聖隷浜松病院 薬剤部 永田季穂 【研究分担者】聖隷浜松病院 薬剤部 奥村知香、柏原道志、稲垣奏
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2026年9月30日
対象者	2022年11月から2024年9月まで の間に聖隷浜松病院に入院した患者のうち不眠時または不穏時の必要時処方がオーダーされた患者様
研究の意義・目的	当院では入院中の一時的な不眠やせん妄に対して、入院時に医師がそれぞれの症状出現時に使用する薬剤を明示(以下、必要時処方)し、必要時に看護師や薬剤師がその指示の元で使用しています。これまで、院内共通の必要時処方があったものの、実際は各医師の判断に委ねられ、院内で標準化されていませんでした。また、現状の必要時処方には使用することで逆にせん妄や転倒リスクを上昇させる薬剤も含まれており、院内のIAレポートでも危険性が危惧されています。そのような背景を含め、せん妄ケア委員会で、精神科薬物療法認定薬剤師を中心に2023年10月に必要時処方の見直しを行い治療の標準化、適正化を図りました。そこで、本研究では必要時処方の見直し前後で、睡眠薬の処方傾向や転倒のIA件数について比較を行い、薬剤の適正使用や転倒予防に与える効果と問題点、改善点の探索を行うことを目的としています。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 性別、身長、体重、体表面積、BMI、診断名、既往歴、全身状態、年齢、入院科、転倒リスク、転倒回数、薬剤情報、入院期間、IAレポート 【主要評価項目】 ・病院セット処方変更前後の各11ヶ月の不眠時・不穏時の必要時処方の使用があった患者様について必要時処方における傾向について比較します。 【副次的評価項目】 ・病院セット処方変更前後の各11ヶ月の不眠時・不穏時の必要時処方の使用があった患者様について転倒のIA件数、背景について比較します。 ・病院セット処方変更前後の各11ヶ月の全入院患者様において必要時処方における傾向、転倒のIA件数について比較します。 ・転倒のIAレポートがあった患者様について背景、薬剤情報を比較します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。

係る手続き	
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 薬剤部 永田 季穂 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日